

科目名	精神看護学演習 I A Psychiatric and Mental Health Nursing Seminar I A		担当教員 (研究室番号)	木戸 芳史 (402)		教員への連絡方法 (メールアドレス)								
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	専門科目		選択 区分		領域 必修		単位数 (時間)	3(45)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
科目 目的	精神看護実践において、理論および方法論に基づいた援助と評価の手法を理解するとともに、精神看護実践における今後の課題を明らかにする。													
到達 目標	1) 精神看護学に関連する理論および方法論を用いた包括的なアセスメントから、援助対象者のニーズを明らかにする。 2) 援助対象のもつニーズに合致した効果的な看護実践の計画立案、実施、評価の手法について理解する。 3) 精神看護実践における今後の課題を述べることができる。													
成績評価方法 (基準)	①レポート (30%) ②演習内容及びディスカッションへの参加 (70%)													
教科書	随時紹介する。													
参考書等	ゲイル・W・ステュアート, ミシェル・T・ラライア(2005)/安保寛明, 宮本有紀監訳(2007):精神科看護—原理と実践(第8版), エルゼビア・ジャパン, 東京. その他、随時紹介する。													
受講者への メッセージ	積極的にディスカッションに参加してください。													
備考														
回	学習項目			学習内容							主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション			・授業目標、授業日程、学習課題を確認する。 ・学生間でディスカッションを行い、自らの学習課題を明確にし、課題の分担を行う。							木戸	演習		
2回	回復期の精神障害者への援助			・回復期にある精神障害者のニーズ、必要な援助、看護の役割について学び、今後の展望について考える。							木戸	講義		
3回	慢性期の精神障害者への援助			・慢性期にある精神障害者のニーズ、必要な援助、看護の役割について学び、今後の展望について考える。							木戸	講義		
4回	地域で生活する精神的困難を抱えた人への援助			・地域における精神保健福祉に関する課題(自殺、新型うつ、ひきこもり、など)を取り上げ、支援の方策について学ぶ。							木戸	講義		
5回	児童・思春期精神科での援助			・児童期、学童期におけるメンタルヘルス上の課題、支援の現状、および看護の役割について学ぶ。							木戸	講義		
6回	精神科薬物療法の実践			・精神科薬物療法における作用、副作用のアセスメント、投与量の評価方法について事例を用いながら学ぶ。							木戸	講義		
7回	家族への援助			・精神障害者の家族の役割の変遷と家族支援について学び、今後の展望を考える。							木戸	講義		
8回	患者・看護師関係とカウンセリングの技法①			・ペロウの人間関係理論に基づく自己の援助場面の再構成と患者・看護師関係の評価、自己洞察について学ぶ。 ・文献を活用し、再構成のためのツールを作成する。							木戸	演習		
9回	患者・看護師関係とカウンセリングの技法②			・援助場面の再構成を行い、作成したツールを使用して、患者・看護師関係、コミュニケーション技術を考察する。 ・援助場面における自己の感情について自己洞察を深める。							木戸	演習		
10回	グループダイナミクスとグループセラピー①			・SST、心理教育、認知行動療法、レクリエーションなどグループセラピーの一つを選択し、その理論に基づいて、プログラムの実施計画と評価指標を作成する。							木戸	演習		
11回	グループダイナミクスとグループセラピー②			・教員と院生を参加者に見立て、計画したグループセラピーを実施する。 ・グループセラピーの効果について、グループダイナミクスの観点を含めて評価を行う。							木戸	演習		
12回	急性期の精神障害者への援助			・急性期にある精神障害者のニーズ、必要な援助、看護の役割について学び、今後の展望について考える。 ・暴力のリスクマネジメントの理論と実際について学ぶ。							木戸	講義		
13回	地域精神保健福祉①			・地域のリハビリテーション施設、または、精神科訪問看護の実際を見学し、看護の役割と今後の課題をレポートにまとめる。							木戸	演習		
14回	地域精神保健福祉②			・産業保健とメンタルヘルスの実際を見学し、看護の役割と今後の課題をレポートにまとめる。							木戸	演習		
15回	地域精神保健福祉③			・学校保健とメンタルヘルスの実際を見学し、看護の役割と今後の課題をレポートにまとめる。							木戸	演習		
16回	精神科病院の機能と役割①			・精神科病院の見学とそこで働くスタッフへのヒアリングを通して、地域のニーズの充足にむけた精神科病院の治療環境および組織体制の在り方を学ぶ。							木戸	演習		

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
17回	精神科病院の機能と役割②	・見学した精神科病院について、①地域のニーズ、②地域の精神保健福祉の課題に対する機能と役割、③治療環境および組織体制について、様々な資料および学術論文等を活用し、レポートにまとめる。	木戸	演習
18回	援助困難事例への援助方法の検討①	・複雑で困難な問題を抱えた患者および家族の事例を提示し、理論とエビデンスを活用し、事例に適した看護援助方法を検討する。	木戸	演習
19回	援助困難事例への援助方法の検討②	・複雑で困難な問題を抱えた患者および家族の事例を提示し、理論とエビデンスを活用し、事例に適した看護援助方法を検討する。	木戸	演習
20回	精神保健看護の新しい動き①	・精神保健看護の新しい動きについて、ディスカッションし、テーマを決めて資料収集を行う。	木戸	演習
21回	精神保健看護の新しい動き②	・精神保健看護の新しい動きについて、自らが設定したテーマの意義、現状、今後の課題と展望について発表する。	木戸	演習
22回	精神看護実践における今後の課題の抽出	・精神保健福祉と精神医療における看護の役割について、これまでの授業での学びを踏まえて、ディスカッションを行い、今後の展望を考える。	木戸	演習
23回	まとめ	・科目を通した学びを発表し、到達目標に対する自己評価を行う。 ・今後の自らの課題について、ディスカッションする。	木戸	演習